

III 授業改善の実際

第2学年 国語科「そうどうしたことを、音読けきであらわそう「お手紙」「C読むこと」

劇化による対話を通して人物の様子を想像し、表現する力を育てる

安達太良小学校 西屋 純

I 単元構成の工夫

本単元は、『お手紙』と「この本、読もう」で構成され、「音読げきをする」という言語活動になっている。音読劇の読み方や動きを工夫し、その根拠となる言葉について考えることで、人物の行動と様子を詳しく読み、気持ちを想像することにつなげることができる。そこで、本単元では、音読劇をよりよくするために、登場人物の様子を具体的に想像することを強く意識付けながら学習を進めることで、児童の言葉の力や想像力の向上を図りたい。

児童の実態

少人数学級ということもあり、仲はよい一方で、自分の見方・考え方を深めるために友達の多様な発想にふれるという経験が乏しく、授業では意見が収束的思考となり、新たな考えの積み上げがあまり見られない。国語科の文学的文章の学習では、登場人物のしたことや、言ったことをとらえる力についてはついてきている一方で、その行動の様子を想像する力は個人差が大きい。

単元を通して育成したい子どもの姿

文学的文章を、文章中の表現をもとに読み、想像したことを表現する意欲や読書意欲を高める姿

「単元構成の工夫」における ○成果と●課題

- 単元のゴールの音読劇の発表を学校行事（学習発表会）と合わせることで、本単元を学ぶ必然性や意欲が高まった。
- 単元の学び方の多くを音読や劇化に焦点化したことで、登場人物の行動について想像を広げる力が高まった。
- 本教材の学習をもとに読書意欲をより高めるために、単元の最後に扱った「この本、読もう」を単元の最初に扱い、並行読書に取り組ませる方法も工夫したい。

学習計画（総時数 14 時間）

時	場面	学習活動（夢中になって学んでいる姿）	資質・能力
1	見通す	単元を見通すことで、音読劇をすることやそのために読み取ること に期待を持つ。	単元の目標を知り、学習の見通しをもって音読劇に取り組もうとしている。(主)
2・3	習得する	「お手紙」を読み、場面分けをしたり、登場人物の行動を読み取ったりしている。	「場所」をもとに場面分けできる。(思) 登場人物の行動を読み取れる。(思)
4 8	考える 習得する	各場面でのかえるくんやがまくんの行動を、具体的に想像することを通し、登場人物になりきって音読している。	語のまとまりに注意し、音読できる。(知) 登場人物の様子や気持ちを、挿絵や本文の言葉を基に想像することができる。(思)
9 (本時)	対話する	二人が手紙を待っているときの気持ちについて考えたり、話し合ったりする。	二人が手紙を待っているときの気持ちについて想像を広げることができる。(思)
10	考える	音読劇で表現したいところを選び、読み方や動きを書き込む。	これまでの学習を生かし、想像したことを音読劇に生かそうとしている。(主)
11 13	対話する 習得する	グループごとに練習をし、感想を伝える。 友達の助言や読み方から、自分の音読のしかたを直し、練習する。	登場人物の行動や、表情、口調、様子などを想像して表現することができる。(思)
14	振り返る	音読劇の発表（学校行事）及び単元全体の学習を振り返る。「この本、読もう」の同じシリーズ本を読み、読書意欲を高める。	これまでの学習を生かし、同じシリーズの本を進んで読もうとしている。(主)

II コーディネートの工夫

<本時のねらい> 教科書23ページを読み、手紙が届くまでの行動や気持ちについて考え、話し合うことを通して、二人が手紙を待っているときの気持ちについて想像を広げることができる。

	学習活動・内容(T主な発問C児童の反応)	<コーディネートの実際>	<コーディネートの改善>
課題設定	<p>1 本時の学習課題を捉える。 (1) これまでの学習をふり返る。 (2) 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ふたりは、どのように手紙をまっていたらうか</div> <p>(3) 課題解決の見通しをもつ。</p>	<p>2 手紙を待つ様子をペアで劇化しながら考える。 T：これまでの様子から、手紙が来るまで、どのように待っていたか想像して劇をしてみよう。 C：先生、どうやるんですか。どこからやるのですか。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px; margin: 5px 0;">すぐにペアで話し合う活動に入れなかったため、イメージを広げるやりとりに時間を要した。</div> <p>T：ふたりは幸せな気持ちで座って何を言ったのだろうかね。 C：「お手紙くるのが楽しみだな」って言ってるかも。 C：「お手紙書いてくれてありがとう」って言っていると思う。</p>	<p>2 吹き出しやキーワードにより思考の視覚化や焦点化を図り、劇化するイメージを持たせる。 T：教科書P23の1行と2行の間にくる場面だよ。二人の会話「言葉」と二人の様子「姿」を考えてごらん。 T：まず、自分の考えを吹き出しにしっかり書いてみよう。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px; margin: 5px 0;">会話を吹き出し入りのワークシートに書かせ、それをもとにペアで劇化することでイメージを持ちやすくする。</div>
課題解決	<p>2 手紙を待つ様子をペアで劇化しながら考える。 C：(がま役) 手紙くるの楽しみだなあ。 C：(かえる役) 喜んでくれると嬉しいな。</p> <p>3 全体で話し合う。</p> <p>C：「いい手紙だ」と言っているので、かえるくんの手紙が来るの楽しみだなあと言っていると思った。 C：挿絵で肩を組んでいるくらい仲がいいから、そのあとも肩を組みながら待っていたと思う。 C：「かたつむりくん、おそいね。でもゆっくりまとうね」と言ってると思う。がまくんは、かえるくんから手紙のことを聞いてから幸せになっているから幸せに待っていると思う。 T：前や次の場面、挿絵から想像が広がりますね。</p>	<p>3 全体で話し合う。 T：何組かに実際にやってみましょう。 C：(手をつないで) 「お手紙を書いてくれてありがとう、次は僕が書くね」 T：どうしてそう思ったのかな。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px; margin: 5px 0;">教師と児童のやりとりが多かった。</div> <p>C：親友と思っているから、手をつないで待っていそうと思いました。</p> <p>4 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px; margin: 5px 0;">振り返りの感想を読むことにとどまった。</div>	<p>3 全体で話し合う。 T：〇〇さんが言ったのはどういうことですか。 T：〇〇さん、今の考えをどう思いますか。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px; margin: 5px 0;">再生を促す問いかけや他の児童の考えのよさや疑問点を問うことで、さらに考えを広げたり深めたりする。</div>
振り返り	<p>4 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">幸せな気持ちでいろいろな話をしたりしながらまっていたかもしれない。</div>	<p>「コーディネート」における ○成果と●課題 ○ 登場人物の様子を劇化し、多様な考えを発表し合うことで、想像を広げる姿が見られた。 ● 吹き出しや「言葉・姿」という話し合う観点を示したり、色分けして板書したりするなど、児童の思考を促すよう視覚化や焦点化を図るとともに、考えの根拠となる発言をもとに他の児童をつなぐ働きかけを行うと思考が深まると思われる。</p>	<p>4 本時のまとめをする。 T：初めの吹き出しに書いた考えと、ペアで劇にしたときの考えを比べて変わったことはありませんか。 C：〇〇さんの発表から幸せながまくんを見て、かえるくんも幸せだったことが、分かりました。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px; margin: 5px 0;">授業の最後に、本時の学習で新たに気付いたことや考えが変わったことを問い、何を学んだのかを確認させる。</div>